

No. 4	事業名	社会包摂（ソーシャル・インクルージョン）の推進	補正 予算額	251 千円
-------	-----	-------------------------	-----------	--------

1 事業目的、趣旨等

私たちは、障害のある人や他の国籍を持つ人など、様々な人々とともに日々を暮らしている。しかし、その関係は往々にして、支援する側とされる側という立ち位置になりがちである。今、求められているのは、福祉という狭義の観点ではなく、様々な違いにもかかわらず、一人一人が持つ力を発揮して生き生きと社会に参加し、活動ができる魅力的なまちづくりである。

社会包摂（ソーシャル・インクルージョン）は、全ての人々を孤独や孤立、排除や摩擦から援護し、健康で文化的な生活の実現につなげるよう、社会の構成員として包み支え合うという理念・概念である。

一人一人を尊重するまちづくりのためには、社会包摂の考え方を施策に反映させること。また、人口減少が進む中で、社会的弱者にやさしいまちは様々な才能や人的資源を引き付けるなど、人口減少対策への有効な戦略とも考えられる。

2 事業概要

(1) 内 容

社会包摂（ソーシャル・インクルージョン）の概念について、まずは市職員の理解・意識を深め、施策への反映を検討する。

講演会・研修会の開催 延べ3日間程度（対象：主に市職員）

(2) 事業期間

平成 28 年度～

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費

251 千円（講演会・研修会開催経費 220 千円、取組視察経費 31 千円）

3 その他参考事項

<いのちへの共感に満ちたまちづくり条例第8条（抜粋）>

わたしたちは、互いの違いを認め合い、たくさんの人に支えられ、生かされていることを理解し、すべての人が人として尊重されるまちを目指して努力を続けてきました。わたしたちは、次のとおり一人一人を尊重するまちづくりを進めていきます。

(1)年齢、性別、障害、文化等の違いにかかわらず、一人一人が持てる力を発揮して、生き生きと社会に参加し、活動ができるユニバーサル社会づくりを進めていきます。